

総合的な学習の時間

第4学年

竹原市立吉名学園

指導者 渡邊 夕起

吉名食材 PR プロジェクト ～ふるさとの食を伝えよう～

1 単元のデザイン

単元の目標

地域の特産物を調べたりその魅力を広めたりする活動を通して、地域の自然を生かした特産物の存在とその生産に関わる人々の思いや願いを理解し、地域の特産物を広めるために自分たちができることを考え、地域の一員として進んで行動することができるようにする。

単元について

本単元の主な活動は、地域の特産物を調べ、その魅力を広めることである。実際に育てている人にインタビューをしたり図書資料やインターネットから情報を収集したりすることで課題解決に向けて情報を活用する力を高めることができる。また、魅力を伝える活動を行うことで、地域の一員としての自覚をもち、これからも地域の特産物を広め、守っていこうとする思いを高めることができる。

本単元の主な教材は「吉名のジャガイモ」である。吉名町の温暖な気候を生かして育てられたジャガイモは味がよく、昭和27年から39年頃には日本一の高値で取り引きされたほどである。しかし現在では、生産者の減少などにより生産量は全盛期の10分の1程度まで落ち込み、関西地方に出荷されるため、地元での流通量は少なく、一部では幻のジャガイモと呼ばれている。また、流通量の少なさから県内での知名度はあまり高くない。

SDGsの視点：11 住み続けられるまちづくりを

地域の特産物を調べ、その魅力を広める活動を通して、自分達の住んでいる町のよさやそれに関わる人の思いを知り、町を誇りに思う気持ちを高めたい。そうすることで、持続可能なまちづくりに貢献しようすることが期待できる。

児童生徒の実態

本学級の児童は、吉名町ではジャガイモが有名であることを耳にしたことはあるが、「吉名のジャガイモ」を実際に目にしたり、食べたりしたことのある児童は少ない。そのため、吉名のジャガイモの魅力や育て方などは詳しく知らないという現状がある。

ICT活用力については、児童はこれまでにプレゼンテーション資料の作成は行ったことがあるが動画編集を行ったことはない。そこで、自分の考えた地域の特産物の魅力などを、写真や動画をうまく用いながらPRするための方法として動画制作を位置付けたい。

プレゼンテーション力については、意識調査の結果、相手に分かりやすい説明をすることに苦手意識を抱いている児童が多い。普段の様子からも書いてあるものを読むだけにとどまり、自分の言葉で語ることに課題がある。

情報収集については、分からないことがあれば、すぐにインターネットで情報を検索すればよいと考えている児童が多い。自分の調べたいことを整理し、目的に合った情報収集の仕方を身に付けさせたい。

また、主体性については、困難なことがあると避けたり諦めたりしようとする児童が多く、粘り強く物事に取り組むことに課題がある。

指導の工夫

(1) プロジェクト型学習

児童が本気になる課題設定をすることができるように、ジャガイモ作りに関わっている様々な人との出会い、その人の思いや願いに触れることを大切にする。実際に農家を訪れて調査活動を行ったり、ジャガイモの出荷に携わっている方や後世につなげていきたいと活動している方の話を聞いたりすることで、地域の一員として「吉名のジャガイモを大切にしていきたい」「吉名のジャガイモの魅力をもっと多くの人に伝えたい」という思いや意欲を引き出す。

高い壁と出会う場として、ジャガイモ作りに関わっている方に児童のアイデアを提案し評価を受ける場を設定する。提案に対する評価を受けることで児童のアイデアが抱える多くの課題が浮き彫りになる。その課題に対して解決策を考えて再提案させることで、様々な視点から物事を吟味したり、粘り強く取り組んだりすることができるようにする。

(2) ICT活用

本単元では、主に個別や協働の場面でICTを活用する。具体的にはインターネットで情報を検索したりするだけでなく、リモートでインタビューやアンケートを実施したりする。また、特産物を広める活動を行う際に動画作成を行う。

(3) シンキングツールの活用

本単元では、主に以下の3つのシンキングツールを活用する。

- ① イメージマップ……吉名のジャガイモを有名にする方法について考えを広げる場面で用いる。
- ② Xチャート・Yチャート……分かったことや疑問、考えた方法を分類したりする際に用いる。
- ③ 座標軸……考えた方法を効果的であるか実行できそうかの観点で評価する際に用いる。

2 単元の評価規準及びルーブリック

評価の観点		S (期待以上)	A (十分満足できる)	B (概ね満足できる)	C (努力を要する)
(1) 知識・技能	ア 知識	地域の食材のよさやとそれが地域の自然を生かして生産されていること、それに携わる人々の思いや願い、抱える課題を理解している。地域の食材のよさなどに関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	地域の食材のよさやとそれが地域の自然を生かして生産されていること、携わる人々の思いや願いを理解している。地域の食材のよさなどに関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	地域の食材のよさ、それに携わる人々の思いや願いを理解している。地域の食材のよさなどに関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	地域の食材のよさやそれに携わる人々の願いを理解していない。地域の食材のよさなどに関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いていない。
	イ 技能	自分が撮影した映像を基に、動画編集ソフトを用いて2分間程度の動画を制作することができる。	自分が撮影した映像を基に、動画編集ソフトを用いて1分間程度の動画を制作することができる。	自分が撮影した映像を基に、動画編集ソフトを用いて30秒間程度の動画を制作することができる。	自分が撮影した映像を基に、動画編集ソフトを用いて30秒間程度の動画を制作することができない。
(2) 思考・判断・表現	ウ 課題を発見する力 企画する力	調査活動やインタビューで得た情報や自分(たち)の興味・関心、ジャガイモ作りに携わっている人々の思いや願い、吉名のジャガイモが抱える課題とその背景を踏まえて課題を設定し、課題解決に向けて様々な企画(アイデア)を出している。	調査活動やインタビューで得た情報や自分(たち)の興味・関心、携わっている人々の思いや願いを踏まえて課題を設定し、課題解決に向けて様々な企画(アイデア)を出している。	調査活動やインタビューで得た情報や自分(たち)の興味・関心を基に課題を設定し、課題解決に向けて様々な企画(アイデア)を出している。	調査活動やインタビューを通して、自分(たち)の興味・関心を基に課題を設定することができない。
	エ 活動を計画・推進する力	自分自身で、地域の特産物の魅力を発信するために必要な情報とそれらを収集するための手段を考え、今後の活動計画を立てている。	教師や友達の助言を基に、地域の特産物の魅力を発信するために必要な情報とそれらを収集する手段を考えている。	教師や友達の助言を基に、地域の特産物の魅力を発信するために必要な情報を考えている。	教師や友達の助言を受けても地域の特産物の魅力を発信するために必要な情報を考えられない。
	オ 情報を収集する力	地域の特産物について、相手の反応を見ながら、臨機応変にインタビューをしてより深い情報を聞き出したり、情報の発信元や情報の真偽を確かめながら、図書資料やインターネットを使って調べたりして、多くの必要な情報を収集している。	地域の特産物について、事前に考えた質問項目を基に積極的にインタビューをしたり、図書資料やインターネットを使って調べたりして、多くの必要な情報を集めている。	地域の特産物について、事前に考えた質問項目を基にインタビューをしたり、図書資料やインターネットを使って調べたりして、必要な情報を集めている。	教師や友達から助言を受けても、情報を集められない。
	カ 整理・分析する力	自分で選択したシンキングツールを使って集めた情報を整理し、地域の特産物の特色等、気付いたことをまとめている。	シンキングツールを使って集めた情報を整理し、地域の特産物の特色等、気付いたことをまとめている。	シンキングツールを使って集めた情報を整理している。	集めた情報を整理していない。
	キ 表現する力	自分の伝えたいテーマやメッセージを意識して、構成や映像の組み合わせを考えながら、動画を制作している。 原稿用紙に頼らずその場で言葉を生み出しながら、相手の共感を得るような話し方で説明を行っている。	自分の伝えたいテーマやメッセージを意識しながら自分たちで撮影した映像を使って動画を制作している。 教師の示したフォーマットや助言を基に、原稿用紙1枚程度のスピーチ原稿を覚え、相手により分かりやすく伝えることを意識しながら話している。	自分の伝えたいテーマやメッセージを意識した簡単な動画を制作している。 教師の示したフォーマットや助言を基に、原稿用紙1枚程度のスピーチ原稿を覚え、つまらずに話している。	自分の伝えたいテーマやメッセージを意識した簡単な動画を制作することができない。 原稿を書いたり覚えたりすることができず、この段階のプレゼンテーションとしては十分といえない。
	ク 発想する力 工夫する力	PRしたいものがよりよく伝わるように、ネーミングやキャッチコピー、デザイン、キャラクターなど、発想を広げたり考えたりしている。	PRしたいものがよりよく伝わるように、ネーミングやキャッチコピー、デザイン、キャラクターなどを考えている。	PRしたいものが伝わるように、ネーミングやキャッチコピーなどを考えている。	ネーミングやキャッチコピーを考えられない。
	ケ 評価する力	お互いの発表や制作物に対して、良い点や改善点などを複数考え、解決策を助言している。	お互いの発表や制作物に対して、良い点や改善点などを複数考えている。	お互いの発表や制作物に対して、良い点や改善点などを考えている。	お互いの発表や制作物に対して、良い点や改善点などを考えられない。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	コ 挑戦する力 やり遂げる力 (主体性)	自分が選択した課題に主体的に挑戦し、失敗しても進んで改善を図り、どこがいけなかったか反省をし、今後を生かしてやり切ろうとしている。	自分が選択した課題に主体的に挑戦し、失敗しても進んで改善を図り、最後までやり切ろうとしている。	自分が選択した課題に進んで挑戦し、進んで失敗しても改善を図り、最後までやり切ろうとしている。	自分が選択した課題に進んで挑戦し、失敗しても進んで改善を図り、最後までやり切ろうとしていない。
	サ 協働する力 (協調性)	みんなで地域の特産物をPRするという理念に立ち返りながら、他者と協働して活動を進めようとしている。	相手意識をもって自分の考えを伝えたり、相手の考えに共感したりしながら、よりよい解決方法を目指して活動を進めようとしている。	相手意識をもって自分の考えを伝えたり、相手の考えに共感したりしながら活動を進めようとしている。	相手意識をもって自分の考えを伝えたり、相手の考えに共感したりしながら活動を進めようとしていない。
	シ 将来を設計する力	活動を振り返り、自分ができるようになったことやお世話になった人について考えを深めるとともに、今後やってみたいことなど、具体的な目標を抱き、計画している。	活動を振り返り、自分ができるようになったことやお世話になった人について考えを深めるとともに、今後やってみたいことなど、具体的な目標を抱いている。	活動を振り返り、自分ができるようになったことやお世話になった人について考えを深めている。	活動を振り返り、自分ができるようになったことやお世話になった人について考えを深めていない。

3 指導と評価の計画（全 45 時間）

時	学習活動		I C T 活用	シンキング ツール	評価規準 (評価方法)
1 ～ 10 (本 時 10 時 間 目)	<ul style="list-style-type: none"> ●「吉名のじゃがいも」について調べて、単元の課題を設定する。 ・地域にどのような特産物があるかを話し合う。 ・実際に農家を訪れて調査活動を行う。 ・調査活動で分かったことや疑問に思ったことを出し合う。 ・疑問に思ったことなどを解決するため、インターネットで情報を検索したり、J Aの方にインタビューをしたりする。 ・「吉名のじゃがいもを有名にしよう」という単元の課題を設定する。 	「吉名のじゃがいも」を有名にしよう	一斉 個別 協働	K J法 Xチャート・ Yチャート	(1)ア (2)ウ (2)エ (行動観察、 振り返りシート)
11 ～ 25	<ul style="list-style-type: none"> ●「吉名のじゃがいも」を有名にするための取組を進める。 ・誰に伝えるかを考える。 ・グループごとに取り組み方を話し合い、作業をする。 ・現状→課題→取組方法が一連のつながりのあるものになっているか考える。 ・取り組んできたことをどこでどのように伝えるかを考える。 ・グループで考えたことをジャガイモ作りに携わっている方に提案する。 ・提案内容を振り返り、上手くいかなかった原因を分析し、魅力発信に必要なことを整理する。 		一斉 個別 協働	イメージマップ Xチャート・ Yチャート	(2)オ (2)カ (3)コ (行動観察、 ワークシート、 振り返りシート)
26 ～ 40	<ul style="list-style-type: none"> ●「吉名のじゃがいも」の魅力発信の再提案に向けて、必要なことを調べたり、発信方法を考え直したりする。 ・保護者や他校の児童生徒、地域の方などにアンケートやインタビューを行う。 ・再提案に向けたプレゼンテーションを作成する。 ・再提案をする。 		個別 協働	座標軸 マトリクス (表)	(1)ア (1)イ (2)オ (2)カ (2)ケ (3)コ (行動観察、 ワークシート、 プレゼンテーション、 振り返りシート)
41 ～ 43	<ul style="list-style-type: none"> ●「吉名のじゃがいも」の魅力を発信する。 ・「吉名のジャガイモ」の魅力を発信し、振り返る。 		個別 協働		(2)キ (2)ク (3)サ (行動観察、 制作物、 振り返りシート)
44 ・ 45	<ul style="list-style-type: none"> ●活動を振り返り、お世話になった方にお礼の手紙を書く。 				(3)シ (制作物、 振り返りシート)

4 本時について

(1) 本時の目標

調査活動やインタビューなどの学習で思ったことを話し合う活動を通して、自分たちの課題を設定することができる。

(2) 本時の評価規準及びルーブリック

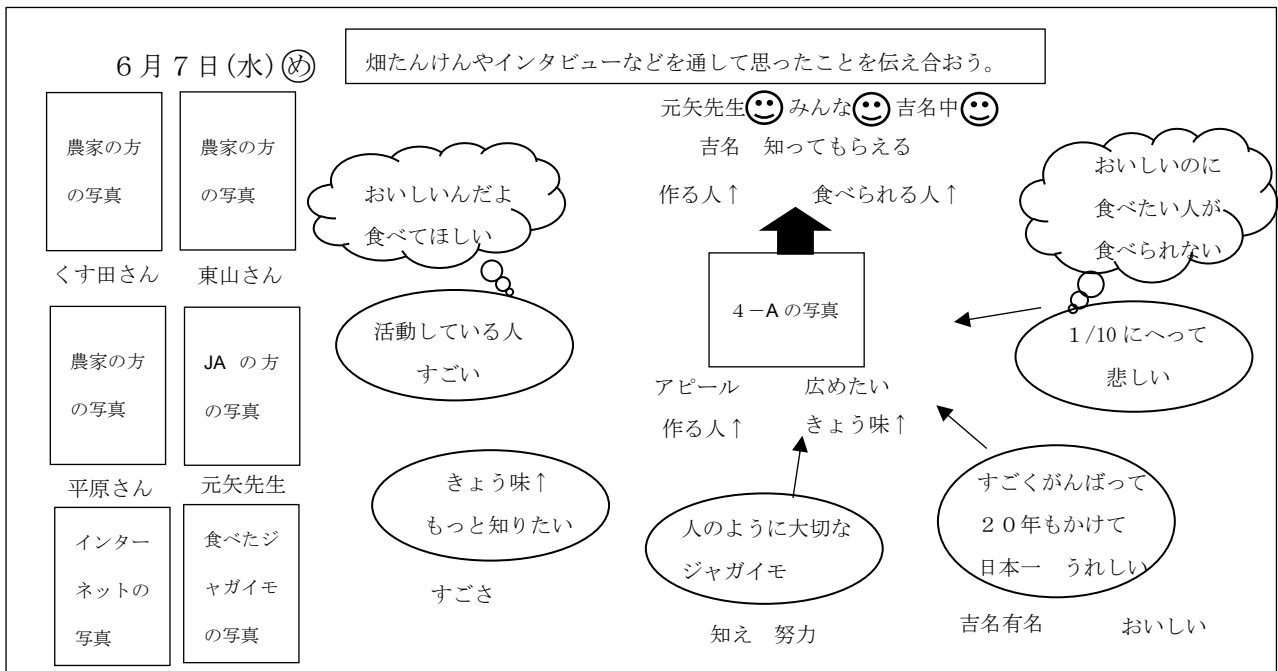
	S (期待以上)	A (十分満足できる)	B (概ね満足できる)	C (努力を要する)
課題を発見する力 企画する力	調査活動やインタビューで得た情報や自分(たち)の興味・関心、ジャガイモ作りに携わっている人々の思いや願い、 <u>吉名のジャガイモが抱える課題とその背景を踏まえて課題を設定している。</u>	調査活動やインタビューで得た情報や自分(たち)の興味・関心、 <u>ジャガイモ作りに携わっている人々の思いや願いを踏まえて課題を設定している。</u>	調査活動やインタビューで得た情報や自分(たち)の興味・関心を基に課題を設定している。	調査活動やインタビューを通して、自分(たち)の興味・関心を基に課題を設定することができない。
知識	地域の食材のよさとそれが地域の自然を生かして生産されていること、それに携わる人々の思いや願い、 <u>抱える課題</u> を理解している。	地域の食材のよさと <u>それが地域の自然を生かして生産されていること</u> と、携わる人々の思いや願いを理解している。	地域の食材のよさ、それに携わる人々の思いや願いを理解している。	地域の食材のよさやそれに携わる人々の願いを理解していない。

(3) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した児童生徒への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)
1 写真を見ながら、これまでの学習を想起する。	◇調査活動で出会った農家の方、JAの方等の写真を提示することで、学習を想起しやすくするとともに、ジャガイモ作りに携わっている人の思いや願いに着目できるようにする。	
2 本時の課題を確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">畑たんけんやインタビューなどを通して、思ったことを伝え合おう。</div>	
3 畑探検やインタビューなどを通して思ったことを伝え合う。	◇今までの学習を想起することができるように、学習過程を見通せる掲示物を提示しておく。 ◆「農家の方の話を聞いて?」「元矢先生の話聞いて?」「ジャガイモを食べてみて?」など、具体的に問うことで、考えやすくする。 ◇「どういうこと?」「どんな思いで?」な	地域の食材のよさ、それに携わる人々の思いや願いを理解してい

<p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>どと問うことで、ジャガイモづくりに携わる人々の思いや願いに着目できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べていくうちにジャガイモのすごさが分かってきた。 たくさんの方が大切にしてきたジャガイモをつなげていきたい。 ジャガイモを作る人を増やしたい。 <p>◇今後していきたいことが出てきたら、「それをするとどうなるのか」と問うことで、活動することのメリットを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作る人が増える。 吉名のジャガイモを食べることができる人が増える。 みんなが笑顔になる。 <p>◇今後の学習につなげることができるよう、振り返りシートには振り返りとともに次時にどのようなことをしていきたいかも書かせる。</p>	<p>る。</p> <p>(行動観察、振り返りシート)</p> <p>調査活動やインタビューで得た情報や自分(たち)の興味・関心を基に課題を設定している。</p> <p>(行動観察、振り返りシート)</p>
----------------------	---	---

(4) 板書計画



(5) 準備物

- 写真